

(1) 単元名：比とその利用

(2) 本時の目標： ○比の一方の数量を求める。 ○ 全体を決まった比に分ける。

名護市立稲田小学校。25年度よりM校長先生のもと「学びの共同体」の理念による学校改革がスタートした。名護市は、羽地中学校が前年度より学校改革に乗り出し、その羽地中学校区の3つの小学校において、中学校での3校の統合を考慮し、平成25年度より稲田小学校、真喜屋小学校、羽地小学校が足並みを揃え「学びの授業づくり」への挑戦が始まった。



☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。

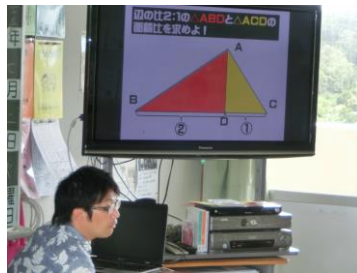
【 学習環境を創る：深い思考・深まりのある学びは整然とした教室でしか生まれない 】



見よ！この整然とした掲示物、ロッカーの整理のようすを。美しいに値するほどである。簡単な話、壊れた掲示物、乱れたロッカー汚れたフロアで、しっとりとした授業など望めるはずがない。教室に「学び合う」環境を創るのは基本的な整理整頓はぜひ心がけたい。掲示物は、子ども達への賞賛と激励、教師の愛情が込められている。ロッカーはきちんとしたい教師のこだわりがうかがえる。



0：00 【授業開始】 静かに淡々と始まる。
中央の間のフロアに座ってみんなと一緒に課題把握。



授業のはじまり方がじつにいい。教師のテンションも低く、子ども達も身構えることなく、自然に落ち着いた空気の中で始まった。授業開始の7分間はゴールドタイムである。

対話から課題把握へ、そしてグループにおける「学び合い」に下すまでの時間はとにかく大切にしたい。

本日は課題把握からグループへおろすまで4：00弱である。教師の余計な話が全くない。素晴らしい！

落ち着きのない教室では、とにかく教師が子どもと同じようによくしゃべっているのが目につく。教室が「言い合いの場」になってしまい、時間とともに、子どもも教師も声が大きくなり、テンションも上がってしまう。そして、静かでおとなしい子ども達が置いてきぼりにされ、さみしい授業風景が形成される。

～一人残らずすべての子ども達～
にぜひこだわった授業づくりを目指してほしい。

5：00 各グループで「訊き合う」学びが発生する。
「分からないこと」を笑顔で訊ける教室の空気がいい！
7：30 一つのグループで一人の女の子が、教科書に戻って何かを探っている。他のグループ員も「まねび」である。教科書開いて解答へのヒントを探していた。(2グループ)
8：00 写真①、目の前の二人の女の子のやり取りをしっかりと見ている男の子、これも学びである。学びはいろんな形で発生する。きちんと手を挙げ、きちんと発表し合うだけが学び



ではない。奥の男の子は、授業後半、最高の「学びの快樂」を二人の女の子から獲得することになる。

【一人の女の子のを「まねび」する仲間達】モデリング

身を乗り出して関わろうとする仲間達。席を立ち横に寄り添って何かを語りに行った男の子。



17:00 【 最初の課題の共有 】 中央フロアにて聴く
写真②、仲間の発表を聴く
眼差しである。しっとり！



眼差し



写真②

この眼差しが仲間に向けられる教室は、決して崩れない！
仲間の「聴く」は最高の支えになる。

「T学級の教室、黒板上に掲示されている
「きく」である。学び合う教室づくりの最初に
取りかかるテーマ「聴
き合う学級づくり」で
ある。「聞く」「聴く」
『訊く』の使い分けを
しっかりしてほしい。
この学級は素晴らしい。
「聴く」の手本は教師である。教師が親身
になって聴いてくれるから子どもはしっとり語れ
る。「教師の聴き方」をモデリングしている。



25:00 【ジャンプ課題へ】



子どものつぶやき：「これジャンプを
こえてるだろ。大ジャンプじゃん！」
素晴らしい課題を準備した。研究協
議会の中で、事前に同僚と相談をして
決めたことを知った。まさに、教師も
「学び」である。子どもの学びを創る
教師の同僚性力である。

かなりレベルが高い。誰一人「分からない」問題である。「学び合う」
必然性が生まれる…素晴らしい！教室は互いに「訊き合う」学び合い
で深い思考の空間になる。誰一人あきらめず、取り残される仲間がい
ない。互いに「分からない」を共有し、ちょっとの気づきを語り、追
及する。写真③、共有課題では互いがそっぽ向き、つながらなかった
グループであるが、ジャンプ課題と教師のちょっとした「ケア」でつ
ながった。なぜか私が安心し「ほっと」できたシーンである。



写真③

【 「分からない者」の学びの快樂 】 2枚の写真
奥の男の子は、ずっと手前の女の子のやり取りを見ていたがなか
なか自分から関われない。しばらくすると女の子二人の手が差しの
べられた。二人の女の子も必死に説明する。美しい光景である。



なぜか、わからない者が「ちゃんと教えろよ」とえらそうに振る
舞っているかのように見える、不思議な学び合う教室の光景だ。

39:00 【 学びのリセット 】

教師は子ども
達の「学び合い」
に滞りを察して
中央のフロアに
集めた。素晴ら
しい見取りであ
った。この後互
いの「学び」は
一気に加速した。
写真⑤、「どう
だった？」仲間
に「聴く？」で
ある。



写真④



写真⑤

【 研究協議 】 …私がぜひ記しておきたい。
「学びの共同体」の研究協議スタイルで進めた。授業者に慎ましく
敬意が向けられ、語る先生方も本音でしっとり語っている。時おり見
せる、先生が方の笑顔が安心できる。



[敬意が向けられる授業者]

授業者も、謙虚に今日までの授業の提
案に至るプロセスを語る。実に慎ましく
である。さらに、本日の協議では6年
生すべて子どもの固有名詞が出てきた。
一番うれしいのは校長先生かな？
協議中にわたしはふと思った。



[笑顔で語る同僚]

T先生、ありがとうございました。素晴らしい授業、素敵な校内研修を拝見させていただきました。感謝に尽きます。ちょっと照れくさそうに「訊き合う」子ども達の姿にとっても安心しました。少しの遠慮や慎み深さかな？校内研修の先生方のお話がとっても良かったですね、一人残らずすべての子ども達の名前が語られたうれしい協議会でした。